

2026 年 7 月 24 日

報道関係各位

大丸有 SDGs ACT5 実行委員会
三菱地所株式会社

～障がいのある子どもたちのための生演奏鑑賞会～ 「丸の内 Shall We コンサート」を開催

三菱地所株式会社、農林中央金庫、株式会社日本経済新聞社、株式会社日経BP等で構成される大丸有 SDGs ACT5実行委員会は、今年度も大手町・丸の内・有楽町エリア（以下、「大丸有エリア」）を起点に、企業の枠を超えてSDGs活動を推進するプロジェクト「大丸有SDGs ACT5」を進めています。その取り組みの一つとして、「丸の内 Shall Weコンサート」を2026年7月13日（月）に開催し、都内の特別支援学校に通う障がいのある子どもたちに参加いただきました。

三菱地所は 2004 年度より、プロの音楽家とともに特別支援学校等を訪問し、障がいのある子どもたちに生演奏を届ける「Shall We コンサート※」を開催しておりますが、2022 年度からは更なる取り組みとして、「丸の内 Shall We コンサート」も開催しております。

「丸の内 Shall We コンサート」は、生の音楽に触れる機会として特別支援学校の生徒の皆さんに大丸有エリアの施設（今回は東京国際フォーラム）にお越しいただき、最高の音質・大規模ホールで音楽の楽しさと魅力に触れていただきながら楽器や音楽について学ぶ機会を創出するとともに、子どもたちの心の成長を後押しすることを目的として開催するものです。

今回は都内の特別支援学校約 60 校にご案内し、ご関心を寄せられた東京都立中野特別支援学校並びに江東特別支援学校の皆さま約 150 名にご参加いただきました。また大丸有におけるダイバーシティ&インクルージョン推進の取り組みとして、大丸有エリア就業者約 60 名（生徒の案内役等運営ボランティア含む）、及び関係者にもご参加いただき、子どもたちと共に音楽を楽しみ、触れ合う機会となりました。

NHK 交響楽団のメンバーによるアンサンブルでは、クラシックの名曲から親しみやすい楽曲まで、幅広い演目を演奏いただきました。また、弦楽器の音の出る仕組みについても、楽しくわかりやすくご紹介していただきました。後半には生徒たちが舞台前に出て、演奏に合わせて元気いっぱいに歌声を響かせ、会場は一体感とあたたかさに包まれました。



▲当日の様子

大丸有エリアは、訪れるすべての人々にとってやさしいまちを目指しています。「丸の内 Shall We コンサート」は、大丸有 SDGs ACT5 が定めるテーマの一つ「ダイバーシティ&インクルージョン」における、「自分とは違う誰かのことを考えられるまち」「困っている人がいたら行動し、助け合えるまち」「皆が安心して、心から楽しく過ごせるまち」を目標とする取り組みの一つとなります。三菱地所は、障がいの有無にかかわらず音楽を楽しむ心を大切にし、感動や刺激を糧とする子どもたちの心の成長を見守りながら、豊かな共生社会の実現に挑戦してまいります。

■丸の内 Shall We コンサート 開催概要

名 称：丸の内 Shall We コンサート

主 催：大丸有 SDGs ACT5 実行委員会

開 催 日：2026 年 7 月 13 日（月）

場 所：東京国際フォーラム

来場校・人数：東京都立中野特別支援学校、江東特別支援学校（約 150 名） ※引率者含む

大丸有エリア就業者 参加者数：三菱地所、農林中央金庫、日経グループ、東京国際フォーラム社員他 約 60 名

※運営ボランティア含む

演奏内容：アイネ・クライネ・ナハトムジーク、喜歌劇「軽騎兵」：序曲、バレエ組曲「くるみ割り人形より」他

演 奏 者：NHK 交響楽団のメンバーによるアンサンブル



ヴァイオリン：飯塚 歩夢

2001 年生まれ。7 歳よりヴァイオリンを始める。

桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学に特待生として入学し、2023 年 3 月に首席で卒業。これまでにヴァイオリンを渡辺亜美、岩澤麻子、徳永二男の各氏に師事。



ヴァイオリン：松田 拓之

1975 年山口県生まれ。5 歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校（男女共学）を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。2000 年に NHK 交響楽団にヴァイオリン奏者として入団。ソロ・室内楽をはじめオーケストラの指揮、指導などの分野にも力を入れている。現在、昭和音楽大学講師、昭和音楽大学附属ストリングスアカデミー講師。これまでにヴァイオリンを辰巳明子、堀正文、指揮を山本七雄、小泉ひろしの各氏に師事。



ヴィオラ：中村 翔太郎

兵庫県三田市出身。4歳よりヴァイオリンを始め、2005年、東京藝術大学附属音楽高校入学を機にヴィオラに転向。これまでにヴァイオリンを佐藤紀子、菊池佳奈子、東儀幸、近藤緑、若林暢、ヴィオラを百武由紀、川崎和憲の各氏に師事。東京藝術大学卒業。N響アカデミーを経て現在NHK交響楽団首席代行ヴィオラ奏者。



チェロ：小島 幸法

千葉市出身。7 歳よりチェロを始める。東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院音楽学部修士課程修了。これまでに金木博幸、間瀬利雄、荻田雅治、山崎伸子、藤森亮一、の各氏に師事。マスタークラスを W.ベッチャー、P.ドゥマンジエ、D.ゲリンガスに師事。

<三菱地所の「Shall We コンサート」について>

三菱地所は、社会貢献活動の重点分野である「文化・芸術支援」「社会福祉」の観点から、生の音楽に触れる機会として特別支援学校の生徒の皆さんを対象に出張型の三菱地所の「Shall We コンサート」を開催しています。このコンサートはプロの音楽家と学校を訪問し、音楽の楽しさと魅力に触れてもらうとともに、楽器や音楽について学ぶ機会を創出することを目的に開催しているものです。2004 年度よりスタートし、2025 年度は 4 校で開催、22 年間に延べ 107 回、2 万人以上の生徒の皆さんに生の音楽をお届けしています。

コンサートのプログラムは、学校側と話し合っており、クラシックだけでなく“ジブリ”や“ディズニー”、学校で習った曲、校歌を演奏することもあります。また、皆で合奏したり、楽器を間近で見られる機会を設けたり、演奏の合間に、曲目や楽器の説明も交えコンサートを進めています。生徒さんたちは、演奏に合わせて、歌ったり、踊ったり、手拍子をしてリズムをとるなど、それぞれに音楽を感じています。



公益社団法人企業メセナ協議会による芸術・文化振興による社会
創造＝メセナの認定制度「This is MECENAT2026」を取得

<大丸有 SDGs ACT5 とは>

大丸有エリアに拠点を置く企業が集まり、SDGs の目標期限である 2030 年の 10 年前にあたる 2020 年 5 月に発足しました。大丸有エリアを軸に、企業が主体となって取り組むことで、企業間連携による SDGs 活動の相乗効果を検証し、長期的に実現可能な SDGs モデル都市の構築を目指します。「サステナブルフード」「環境」「ひとと社会のWELL」「ダイバーシティ&インクルージョン」「コミュニケーション」の 5 つの ACT（テーマ）を設定し、各アクションの実践、効果の検証、社会課題の構造的な問題を明らかにすることをミッションとしています。

大丸有 SDGs ACT5 公式サイト：<https://act-5.jp>

2026 年度プレスリリース：

https://www.mec.co.jp/event_campaign/detail/2026/04/15_mec260415_act5



【実行委員会構成企業・団体】



農林中央金庫

